

MCPC が M2M/IoT ビジネス実践講座を開始

平成 27 年 8 月 10 日

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（会長 安田靖彦 東大名誉教授、早稲田大学名誉教授）では市場の拡大が期待されている M2M/IoT のビジネスモデル策定、業務フローの構築、M2M (IoT) デバイスやシステムの開発などを具体的に主導できる人材、開発ができる人材の育成が急務であることから、M2M/IoT ビジネス実践講座を開設いたしました。平成 27 年 7 月 1 日(水)と 2 日(木)の 2 日間に第 1 回を実施しました。大変好評であったことから今後、継続して開催する事となりました。

この講座の特徴は MCPC が 2003 年より実施しています MCPC Award で表彰されました優秀なシステムの中から M2M/IoT を活用した 30 の事例のビジネスモデルを分析し、M2M/IoT を活用したビジネスを考察、計画するにあたってのポイントを解説しています。一般論を排し、極めて具体的、かつ実践的な内容になっています。

更にシステムの企画から開発までをスムーズに行い、開発費用の低減、期間の短縮し、サービス開始までを体系的に捉え学習できるようになっています。

★受講対象者としては

- ・ M2M/IoT ビジネスの企画担当者、具体的な導入予定の企業関係者
- ・ M2M/IoT のビジネスモデルや動向に興味を持つ経営者
- ・ M2M/IoT 機器やシステムの開発担当者、M2M プロトタイプの作ってみたい方
- ・ M2M/IoT のパートナーを探している企業関係者
- ・ M2M/IoT の実践ノウハウを習得したい方、M2M 事例(実践)内容を習得したい方などが対象となります。

★講座の構成はビジネスモデル設計編、業務マネジメント編、開発設計編（基礎、実習）の 3 部（総時間数=12.5 時間）から構成されます。

- ビジネスモデル編では、30 事例におけるサービスの内容とお金の流れ、商流やビジネス価値に関する分析結果を解説します。

各ステップ毎の経営層の関わり方、ビッグデータへの展開や M2M/IoT システムと経営革新との関連のかをわかりやすく解説します。

- 業務マネジメント編では、M2M の通信回線(通信モジュール)の選択方法、M2M/IoT ビジネスの特徴でもある物販とサービス売りを両立させるための課題や解決方法を実際の業務フローに合わせて解説します。

- 開発実習編（基礎）では、市場でのトラブルを未然に防ぐために無線通信を使用する上で陥りがちなトラブル事例とその回避方法を説明します。

- 開発実習編（実習）では、受講者ひとりひとりが教育機材である RaspberryPi およびセンサー/通信基板に直接触ることで、プロトタイプ開発が簡単、安価に行えることを体験できます（一部機材は持ち帰り可能）。技術者のための「設計者コース」の他に「デモ体験コース」を設定していますので、技術者でなくても受講可能です。

★第2回「M2M/IoT ビジネス実践講座の時間割（2日間開催）」

【第1日目】2015年9月17日（木）

10:00～17:00 ビジネスモデル設計編
(17:00～懇親会)

【第2日目】2015年9月18日（金）

09:30～11:00 業務マネジメント編
11:00～12:30 開発実習編（基礎）
13:30～17:00 開発実習編（実習）

★申込みおよび受講料

- お申込方法

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_15249.html

- 受講料

<2日間お申込みの場合> 1名につき 73,440円（税込）

<どちらか1日のみ受講の場合> 1名につき 42,120円（税込）

- 詳細添付のパンフレット参照

本件に対するお問い合わせ先
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
105-0011 東京都港区芝公園 3-5-12 長谷川グリーンビル 2F
電話 03-5401-1935 担当 坂本
メール info@mcpc-jp.org